



Unique & Exciting Campus

UEC基金たより

vol. 7

2015年12月発行



学生生活の充実に向けて：奨学金と学生寮

副学長（学生支援担当） 桐本 哲郎



学生支援センター長の桐本です。学生支援センターでは、電気通信大学の学生の皆さんの学生生活の充実を目的として、学生相談・修学相談（「学生何でも相談室」）、就職支援、学生生活支援等の業務を行っています。その学生生活支援・相談活動の中でも、障がいを持つ学生の支援、入学料・授業料等の免除および徴収猶予、奨学金の紹介と給付、学生寮および学生の福利厚生施設の管理運営等に関わる相談と支援は、センターの重要な活動と位置づけています。

UEC基金の募金活動は、第I期（創設2012年～2018年3月末）に10億円の募金を目標として進めておりますが、基金の主な用途は、①給付型奨学金制度の充実（学部生向け奨学金の継続と大学院生向け奨学金の新設）と学生の海外派遣支援 [8億円]、および、②100周年キャンパス整備・運営事業の推進 [2億円] の二つです。本学では、100周年キャンパスに2棟 400名分の学生寮を新たに建築し、2017年4月に運営を開始する予定です。UEC基金は、こうした学生支援活動を支える重要な財政基盤ということになります。

前回の「基金たより 第6号」（2015年6月発行）では、本学からの給付型奨学金（返済を必要としない奨学金）や大学の海外派遣助成を受けて、勉学・研究に励んでいる学生達の声をご紹介させていただきました。現在、電気通信大学には、独自の給付型奨学金制度として、学部生向けのUEC修学支援奨学金とUEC WOMAN修学支援特別奨学金があります。しかし、これらの財源である「修学支援奨学金」は2018年度に底をつこうとしています。また、学生達の海外派遣を支援している「創立80周年記念学術交流基金」につきましても、2019年度には同様に基金が底をつく見込みです。UEC基金は、これら学部生向け奨学金や海外派遣支援の継続に使わせて頂く予定です。

一方、2013年度に文部科学省の「研究大学強化促進事業」支援対象機関に選ばれた本学では、大学院に通う学生達を支援する新たな給付型奨学金も提供していきたいと考えております。現在、日本の大学が2017年からの「学生が減りゆく時代」を迎える中、電気通信大学で学ぶことを願う優秀な学生達が安心して入学できるよう、給付型奨学金の充実を図っています。優秀な学生が、本学で大学院まで継続して勉学に励んで頂けるよう、また、他大学からも電気通信大学の大学院を目指してきて頂けるよう、学生達を経済的に支援できる環境を整えていきたいと考えています。さらに、新しい学生寮で共同生活を経験し、留学生らとの交流を深めた電気通信大学の学生達が、将来の日本を背負う人材として育てていってくれることを期待しています。

是非、UEC基金の充実に向けて、募金活動にご協力頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。

「UEC 生涯メールシステム～ 転送メールサービス～」の運用開始

電気通信大学では、本年10月末より、卒業生・修了生、退職教職員など本学に所縁ある全ての皆様に、「UEC 生涯メールアドレス」を無料で提供するサービスを開始しました。

本サービスは、生涯に渡って変わらぬ UEC 生涯メールアドレスを保有していただくことにより、大学、学科・専攻、研究室、部活やサークルの仲間、ならびに、企業にお勤めの卒業生・修了生や教職員の間で、連絡や報告に活用いただける以下のような転送メールサービスです。

- 1 mail.uec.jp ドメインのメールアドレス (xxxx@mail.uec.jp) を提供します。
- 2 利便性やセキュリティ対策を考慮して、各自が常用されているメールアドレスへの転送方式とします。
- 3 異動や転職などでメールの受信環境が変わっても、転送先アドレスを適切に設定していただくことにより、生涯にわたって同一の uec アドレスで連絡を受け取ることができます。

皆様方が、UEC 生涯メールサービスに登録いただき、大いに活用されて、大学や同窓の方々とのつながり（人のネットワーク）を拡げていただくことを願っております。

申込方法 大学ホームページトップ (<http://www.uec.ac.jp/>) 上の UEC 生涯メールシステム専用ページ (<http://www.uec.ac.jp/uec-mail/>) からログインいただき、お手続きください。

第3回「電気通信大学ホームカミングデー」を開催 UEC 基金高額寄附者に感謝状を贈呈

第3回ホームカミングデーを平成27年7月19日（日）に開催しました。

当日は猛暑の中、大勢の卒業生の皆様にご参加いただき、全体会やキャンパスツアー、研究室公開、パネル展示等のほか、夕方からは懇親会を行いました。

全体会では、福田学長から開会の挨拶とともに大学の現状について報告があり、野々村同窓会長の挨拶のあと、本学教授2氏による「無線技術は何をめざすのか」、「社会に偏在化する人工知能」の講演があり、また、本学卒業生で国立天文台名誉教授の川口則幸氏による「電気通信技術と電波天文学 - 微弱電波の検出を目指して-」と題した講演会がありました。

共催の目黒会では、昨年に引き続き「UEC WOMAN 女子会」のほか、今年は、海外6支部全てから代表者に参加いただき、本学留学生との交流会を催しました。

懇親会では、旧友や恩師との再会に喜び、思い出話で盛り上がる中、昨年のホームカミングデー以降に UEC 基金に高額なご寄附をいただいた個人3名・法人1社に、福田学長から感謝状と記念品を贈呈しました。



UEC 基金感謝状贈呈
左から：福田学長、菅谷壽鴻様、武田光夫様、服部謙太郎様、三菱電子工業株式会社様、木野理事



UEC WOMAN 女子会

電気通信大学基金事務局

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL：042-443-5132（平日9時00分から17時00分まで）

FAX：042-499-4858

メールアドレス：kikin@office.uec.ac.jp

■ 古本募金「本でつなぐ未来プロジェクト」にもご協力をください

■ 基金についての最新情報は Web をご覧ください ▶ <http://www.uec.ac.jp/kikin/>

■ 寄附は、一口5,000円からお願いしています。（基金の趣旨をご理解の上、複数口でご支援ください。）

■ インターネット利用による寄附は、1,000円から可能です。（webで「寄附金の申込方法」を参照） ■

